

1	会議名	平成 30 年 第 1 回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	平成 30 年 1 月 22 日（月）午後 2 時 30 分～午後 3 時 16 分	
3	開催場所	2 階 特別会議室	
4	出席委員	委員長 西村 宏 委 員 廣田 登志子、村尾 利勝、佐倉 弘之甫	
5	欠席委員	牧中 マリコ	
6	会議出席者	教育次長 : 山口 妙子 由宇支所長 : 本田 薫 玖珂支所長 : 宇佐川 武子 周東支所長 : 岩崎 幸子 錦支所長 : 岡 至教 美和支所長 : 浜川 智也 本郷山村留学センター所長: 佐古 三代治 教育政策課長 : 重岡 章夫 学校教育課長 : 守山 敏晴 青少年課長 教育センター所長兼務: 嶋岡 博昭 文化財保護課長: 三浦 成寿 生涯学習課長 中央公民館長兼務: 原田 広子 中央図書館長 : 中本 佳孝 科学センター館長: 森本 敦彦 学校教育課学務班長: 永木 健一	
7	会議従事職員	教育政策課: 光井 国康、沖野 理恵	
8	会議録署名委員	廣田 登志子、佐倉 弘之甫	
9	議事日程		
	日程第 1	会議録署名委員の指名について	
	日程第 2	報告第 1 号	所管事項について
	日程第 3	報告第 2 号	公務上の事故に関する専決処分の報告について
会議の概要 西村委員長		・ただいまから平成 30 年第 1 回岩国市教育委員会会議を開会します。はじめに、日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、廣田委員と佐倉委員にお願いします。本日の議題は、「報告第 1 号 所管事項について」、「報告第 2 号 公務上の事故に関する専決処分の報告について」でございます。それでは、日程第 2 「報告第 1 号 所管事項について」を議題といたします。これについては協議会形式で進めたいと思います。それでは、各担当部署からは、先に配布しております行事予定表について補足、また所管事項において懸案等があれば、説明をお願いします。	
玖珂支所長		・2 月 25 日日曜日 14 時から玖珂こどもの館におきまして、「サーカス エンターテイメントショー ブラビッシモ!!」が開催されます。入場料は 4 歳以上 1,000 円です。人間の身体が作り出す芸術的アクロバットや力強いバランス芸、スピードと正確さで観客を魅了するジャ	

錦支所長	グリング、コミカルな人気者のクラウンなど、思わず感嘆の声がでてしまう驚きの技が、目の前でステージ狭しと繰り広げられます。小さなお子様から大人まで家族全員で楽しめるショータイムです。最高のテクニックと華やかなステージングをお楽しみください。よろしくお願いします。 ・12月10日に錦ふるさとセンターにおいて、岩国市地域文化講演会、講師に元NHKのアナウンサー堀尾正明さんをお招きして開催させていただきました。会場のセンターが空調の工事中でブルーヒーターでの対応という寒い中での開催となりました。目標にしていた人数には少し足りませんでしたが、たくさんの方に来ていただき無事終わることができました。どうもありがとうございました。
美和支所長	・12月の行事報告の中で、美和地域避難所体験訓練について補足説明させていただきます。これは、美和中学校が核になって、美和小、美和東小、美和西小の各小学校の児童、そして岩国高等学校の坂上分校の生徒さんも入りまして避難所を体験するというものです。避難の訓練ではなくて、実際に1か所に集まって避難をしたときにどういう困難があるかというのを子供たちに体験してもらおう、大変な部分があるのでそこをあらかじめ知っておこうというふうな目的で開催されました。特に坂上分校の高校生たちが、子供たちの面倒を見る、受付の窓口であったり各地域ごとに整列したりというところで尽力して、大変スムーズにいました。大変寒い中でしたが、緊張感があってよかったのではないかと思います。いくつか反省事項もありますけれども、これを1回目としてさらにコミュニティ・スクールの仕事のひとつとして今後もやっていくということでしたので御報告をしておきます。
山村留学センター所長	・留学生全員本郷に帰ってきました、無事に3学期を迎えております。ただ、インフルエンザがはやりだしていますので、それには気を付けさせたいと思っています。
学校教育課長	・12月25日に日体大との連携事業として、剣道のほうで日体大の部長や部員の方に来ていただきました。市内の中高120人の剣道部員と指導者も来まして、実技指導等を頂き、大変効果がありました。そして、2月9日に小中一貫教育ブラッシュアップ研修会ということで、3校のモデル校の実践発表等していただいて、市内の小中一貫に向けての平準化に取り組んでいきます。よろしくお願いします。
生涯学習課長	・生涯学習課の所管事項として、まず成人式についてです。委員の皆様方には、1月7日の成人式に御出席をいただきまして、大変ありがとうございました。当日は、新成人1,085人の出席があり、出席率は91.79%でした。昨年に引き続き、シンフォニア岩国での開催となりましたが、協力団体、多くの職員の方々の協力をいただいて、

	まずは無事の終わりにほっとしております。今回の反省点等を踏まえ、次回の更なる改善にいかしていきたいと考えておりますので、今後もよろしくお願いいたします。なお、来年は、市民会館の改修は終わっておりますが、引き続きシンフォニア岩国において、来年1月13日日曜日に開催の予定としております。 次に、社会教育功労賞の表彰式ですが、来週1月30日火曜日に表彰式がございますので、御出席よろしくをお願いいたします。 次に、「中央公民館まつり輝きフェスタ」についてのお知らせです。2月18日に舞台発表の部、翌週24、25日の土日に展示の部を開催いたします。これは、中央公民館を活用し、生涯学習活動をしてられる団体の方々の活動発表の場でございます。舞台発表の部では、昨年に引き続き岩国小学校こども教室の参加や岩国中学校吹奏楽部の参加をいただく予定です。また、24、25日の作品展示と併せて今年は新たに岩国短期大学生によるミニイベントを開催する予定にしております。是非御来場いただきますようよろしくお願いいたします。なお、3日間とも岩国小学校が駐車場となっておりますので、併せて御案内いたします。
文化財保護課長	・岩国徴古館の行事予定について、2月18日は郷土史研究会が第600回ということで、記念すべき年になるというようなことから、新聞社等の取材もあると聞いております。
科学センター館長	・12月の行事報告ですが、日食の特別企画展「日食の感動を伝えたい」について、11月21日から約1か月間、企画展覧会を開催いたしました。期間中の来場者114人ということで、結構好評でありました。それから、科学センター集録が先日出来上がりまして、関係者の皆様に配布しております。
西村委員長 廣田委員	・全体を通して御意見や御質問がありましたらお願いします。 ・成人式は大変お疲れ様でした。シンフォニア岩国での開催は2回目ですね。中に入らずに外にいた対象者もいましたが、中に入った成人については、本当に厳粛な30分でした。「30分なので厳粛な式典にしましょう」という話をしておりましたけれども、その通りになって本当にお疲れ様でした。各部署からも助っ人が出ていましたが、非常に厳粛なすばらしい式であったと思います。出席率91.79%というのもすばらしいです。今年の反省点を来年にいかすということですが、例えばどんな反省点がありましたか。私たちは中にいてちょっと外の様子が分からないので、何点かお話しただけたらと思います。
生涯学習課長	・今回、ホールに入る希望の方は10分前までに受付を済ませてくださいということで、スーパーメガホンなどを使って呼びかけを行った結果、ほぼ3分前の締切りの時間にはホワイエの方々もみなそれぞ

廣田委員	れの階に入ったところではあります。ただ、1階がほぼ満席になったなと思う頃から2階へ上がってくださいと案内することになっていて、2階に上がった子の中で、2階に入れなくてまた1階に降りてきた成人の方がおられたのですが、その時間はもう締切りの時間で、入れなかった成人の方が何人かおられました。その辺を来年度は考えないといけないと思っているところです。 ・キャパシティからすると入れないことはないのですが、会場の整理でそうってしまったのでしょうか。会場係が空いているところを探すということも必要かもしれませんね。
生涯学習課長 廣田委員	・そうですね。1階席の前のほうが空いておりました。 ・ちょうど真ん中のあたりが空いていましたね。でも、立派な式典でした。来年もシンフォニア岩国で開催するのはなぜですか。
生涯学習課長	・市民会館は改修後、座席数が少なくなる予定です。それで、今年も1,085人いましたので、ちょっと入ることが難しいと思われます。しばらくは人口の推移をみながら考えていくことになるでしょう。
廣田委員	・はい。わかりました。 二点目ですけれども、美和支所の行事で、いろんな方々が協力をして事業を盛り上げたというお話がありましたが、実は先週、周北小学校の子育て講座に行きました。そこにも支所の方や保護者、地域の方ですね、それから教育委員会の藤井先生も来られて、児童数8人、家庭数5人というような小規模ですけれども、地域みんなで盛り上げる子育て講座ということで、部屋いっぱいすばらしい参加者でした。あのよう地域を巻き込んで、あるいは新一年生対象であっても全保護者を巻き込んでやるということは大事だなというふうに思いました。一人一人がしっかり純粋に育っているの、大きな学校に行ったときに、いろんな集団と関わり合える力を養うことだけが課題だなと思って、とてもすがすがしい気持ちで帰りました。最後に、中央公民館はじめ各地区あるいは分館でいろんな行事を組んでおられますけれどもどれも魅力的です。どこかにお聞きしたいのですが、この行事のプログラムづくり、ラインナップをどういうふうにされているのでしょうか。毎年ルーティーンでやっていらっしゃるのもあるでしょうし、新しいのを入れられることもあるでしょう。工夫して担当者がやられることもあると思いますが、どこか一館ほどお聞きかせ願えないでしょうか。支所の中でどこか「うちはこんな風に工夫していますよ」というようなことはありませんか。
美和支所長	・一年目なのでまだ詳しくは分かりませんが、今、来年度の計画を立てているようです。年度が始まる前にだいたいの企画を立てて、中身については担当者がアンテナを伸ばして講師の方を設定していたり、横の連携がありますので、よそでやって人気のあったものを活

廣田委員	用したりします。主には日程調整だけになりますが、学校を巻き込んでやるものもごございます。回数等はだいたい前年どおりという形になりますが、中身については毎年度企画をしておしているところですよ。 ・ありがとうございました。この書面で毎回本当に関心するのですが、健康的なスポーツ関係、文化関係、いろんな魅力ある講座がありますので、御苦勞が本当によく分かります。先週も中央公民館の発表会に行ってきましたが、60 歳代はまだ働いている方もいらっしゃるのよ、70 歳、80 歳代の方が中心となつて、90 歳の方がとても元気に参加をして舞台発表をしておられました。中央公民館の例で言うよ、70 歳、80 歳をターゲットにしたり、子育て講座、小さいお子さんを持っておられる子育て世代をターゲットにしたりしておられます。年齢の幅が広くて、真ん中、忙しい世代のところが抜けているという状況なので御苦勞がおりかと思ひますが、よく実態を把握した行事を組んでおられるなと感心しながら、いつも見させていただいたり、私も関わらせていただいたりしております。高齢化ですので、是非その辺のところがいきいきと社会参加ができるようにしていただきたいと思ひます。
西村委員長	・それでは、私から何点か質問させていただきます。まず、徴古館ですが、新聞で高杉晋作の斬首の資料について取り上げられていたが、その辺の説明をしていただきたいと思ひます。
文化財保護課長	・徴古館に以前から収蔵されていた資料で、学芸員は広く伝える意思はなかったのですが、講演等でこういう事実もあるというのを話したときに、それをマスコミが聞きつけて、ちょっと取材に来られたというのが実情です。新しく見つかったというよりも、以前から分かっていたものですが敢えて発信はしていなかったという状況のようですよ。しかしながら、マスコミ担当者がそういうところに注目されたということです。
西村委員長	・もともとあるのは分かっていたわけですね。それから、今、漫画シリーズを2回くらい出していますよね。
文化財保護課長	・赤禰武人と吉川経幹公です。
西村委員長	・これはどれくらいシリーズが続くものですか。それとも限定的に行うのですか。150 年の特別のイベントとしてやっているのですか。
文化財保護課長	・赤禰武人のは試行的に出したのですが、それがわりと人気よかったので、その後できれば継続して岩国の人たちをクローズアップしたいということで、予算の確保に努めているところですよ。いろいろな故郷の偉人がおられますので、予算の確保ができる限りはやっていきたいと学芸員はそのような希望を持っています。
西村委員長	・予算次第ということですね。150 年に協賛してということではない。

文化財保護課長	・今回の吉川経幹公については、150年の関係もあって少し厚めのものを作っています。今後ページ数は少なくなるかもしれませんが、継続してやりたいと思っております。
西村委員長	・一般の方の人気はどうか。
文化財保護課長	・ほかに市販しているものもありますが、その中で人気は高いです。
西村委員長	・200円でしたかね。
文化財保護課長	・はい。200円です。
西村委員長	・分かりました。それから、学校教育課の2月9日の小中一貫教育ブラッシュアップ研修会、そこで3校のモデル校が発表されるということですが、この3校はどこでしょうか。
学校教育課長	・東小中学校と通津小中学校、本郷小中学校です。
西村委員長	・これはある程度先行的に実施されているということでしょうか。
学校教育課長	・昨年度からモデル校としておりますので、その経過報告という形になります。来年度は、県の発表が岩国地域、和木であります、そこでも発表してもらおうということです。
西村委員長	・成人式の件ですが、今年は会場内の成人も、かなり、例年になくよく、市長の話を始め、聞いていたんじゃないでしょうか。入口のところもスムーズにいつているように見えました。私の経験で一番まあまあ落ち着いてくれた成人式じゃないかと思います。たまたまなのか、来年もこの状態が続くのかは分かりませんが、セレモニーのときも意外と皆さん前を向いて聞いてくれていたように思います。こういう状態が続いたらいいですね。外でたむろしている人も多少いましたが、それはしょうがないかなという気もします。多少はね。そこまではどうしようもできないですから。定刻に始まりましたしね。それと、ステージのところで、毎年、議長が一人で座るのは嫌だから席を動かして市長の隣に入られますが、最初から席のセッティングを考えたらいいんじゃないかと思います。来賓と主催者側で気をつかう部分があるのかもしれませんが、そういう座り方も検討されたいかがですか。難しいでしょうか。
生涯学習課長	・本来は上側に来賓の方が座られますので、そのように考えています。
西村委員長	・一応はそのようにセッティングしておいて、来賓の方の希望にあわせて対応するという感じですね。
生涯学習課長	・今の議長は何年か経験しておられるのでそうなんだろうが、もし違う方であれば本来の形のほうが正しいと感じられると思います。
西村委員長	・毎年、幕を上げる前に椅子を動かしてどこに座ろうかということをしているので。来賓ですから、最初のセッティングはそうにするといいことですね。
廣田委員	・今の成人式のことで、始まる前に新成人が宣言をしたと思いますが、そのときにまだ会場がざわついていて、成人の声がよく聞こえませ

西村委員長	んでした。成人が挨拶するんですから、司会の人がある前にきちんと静かにさせて始めないといけないと思います。誓いの言葉が終わってから静かになりましたけれど、2人の声がほとんど会場では聞き取れなかったの、かわいそうだなと思いました。一生懸命練習したでしょうね。あの辺を考える必要があると思います。 ・声が小さいんです。市長がいつも「大きい声でしゃべりなさい」と側で言っています。新成人の声が小さいというものもあるんじゃないかと思います。慣れていないから声が小さいんでしょうか。マイクは胸のところに付いているんですか。
生涯学習課長	・ついています。
廣田委員	・会場がざわざわしていましたので、あっと思ったんですが。
生涯学習課長	・リハーサルするときなどは誰もいない状態ですから、それと同じトーンであれば聞こえにくいということを次回は伝えようと思います。
廣田委員	・MCがしっかりしきって、静かにした状態で始めたらいいと思います。ホールですから小さい声でも本当は響くんですよ。会場がざわざわしたままいつの間にか始まったという感じで残念でしたね。
西村委員長	・村尾委員は成人式について何かありますか。
村尾委員	・座席数はだいたい飽和状態だったのですか。
生涯学習課長	・人数的にはそういう感じです。
村尾委員	・中に入らない成人の方はどれくらいいましたか。
生涯学習課長	・式典で扉を閉め切った段階では、ちょうど1階に入れなかった成人が3人ほどでした。玄関の外には10人くらいはおられたかもしれません。
村尾委員	・それなら入ろうと思えば全部座席が埋まる程度ですね。非常に落ち着いた形で、帰りに市議会議員の方と一緒になったのですが、ここ最近非常に落ち着いて式典も大人の対応ができていうことで、すばらしい成人式だったという感想をいただいています。職員の動員もかなりあったと思いますが、精神的にも落ち着いた成人式でよかったと思います。
西村委員長	・最後に中央公民館まつりの件について、これはもう何回になるんですか。だいぶ続いていますよね。10年くらいでしょうか。
生涯学習課長	・もっとなんじゃないですかね。活動の発表の場ということなので、たぶん各公民館でも同じようにされていると思います。第何回とないのでどのくらい続いているかは分かりません。
西村委員長	・これは生涯学習課がやっているんですか。
生涯学習課長	・中央公民館です。
西村委員長	・実行委員会とかではなくて中央公民館が主催でやっているんですね。
生涯学習課長	・中央公民館は職員がおりますので、こちらの職員も協力してやっています。

西村委員長 生涯学習課長	・参加団体が多いですね。 ・あの中で活動されている団体にお声掛けして、土日の参加が難しいところも中にはありますが、自主活動のクラブとしてやっておられるところなどが事前に協議を重ねてやっています。それぞれのメンバーが高齢になってきているので、みんなで作り上げるという形にしたいのですが、職員の負担が年々増えてきています。
西村委員長 生涯学習課長	・一日に延べどのくらい参加しているか統計はとっているのですか。 ・とっています。舞台発表に出られる方はイコール観客なので、かなりの人数です。その翌週の作品展示の部は、作品展示されておられる方やそこで文化的な活動、展示などの活動をされている方々も来られます。ミニコンサートや岩国短期大学のイベントもありますので、それで集客は見込めるのかなと思ってはおります。しかしながら、今は年々参加人数は減ってきております。
西村委員長 生涯学習課長	・岩国短大が参加するのは今年が初めてですか。 ・初めてです。なので、幼稚園や保育園、子育てサークル、そういうところには広報しております。
西村委員長 村尾委員	・分かりました。ほかにないでしょうか。 ・学校教育課にお尋ねです。受験が間近に迫ってきました。受験のためじゃないんですが、学力向上も含めて、中学校3年生の受験生を対象に補習を、学校運営協議会以外の地域の方がボランティアで子供たちに教えるというふうな声もきいています。例えば、麻里布中学校は、11月くらいからだったと思いますが、土曜日を指定して、希望者に対して補習をやっているというふうにきいております。それによって、子供たちもやる気を見せて高校受験に対する姿勢もかなり身についてきたと聞いております。麻里布中学校の場合は、元教員や岩国高校現役の高校生ですかね、これも巻き込んで個別指導しているということで、かなり熱を入れてやっておられるようですね。一般授業も当然力を入れてやる必要があると思いますが、こういったことが各学校に定着すれば、子供たちの学力にかなり寄与するんじゃないかと思っております。ほかの学校で把握しているのはありますか。
学校教育課長	・それぞれ補習という形で、これは3年だけに限らず、試験期間中を使ったりして行っているという話は聞いていますが、今、土曜日とかで活動しているのが麻里布中学校。今、言われた高校生や校区内の教員、そういった方が集まって試験的にやっておられます。部活が終わった3年生を含めて、放課後補習をしている学校はありますが、そこに地域を巻き込んでというところまではいっていないのが現状です。
村尾委員	・そういった元教師や高校生を巻き込んでいくと個別指導が充実して

学校教育課長	くるわけです。今まで勉強してきたがよく分からないという子供に対するケアが非常に充実してきますから、そういった例も挙げて、できるだけ地域の人材を自分たちの学校に巻き込むといったらおかしいですが、来ていただきながら子供たちの力を十分に発揮できるような体制を、1つでも多くの学校に広めていけばいいなと感じています。それと、県の入試体制が全県一区になりましたよね。2年目でしたかね。進路指導についても各学校定着してない部分もあると思いますが、何か問題点はありますか。
村尾委員	・今はどの学校に行きたいという思いを第一に考えています。学校に行ってもある程度普通に授業に付いていけるレベル、要するに中学校で言えば、6割7割の授業内容を理解して高校に入ることを考えていこうと。250点満点でいったら、150、160点くらいを取ろうということで、それぞれ最低ラインというよりも理解するようにして、あとは本人のやる気ですね。ですから、全県一区になったからといって大きなトラブルがあるようには聞いておりません。
学校教育課長	・個人に学力を十分つけておけば、今までと余り変わらない体制で対応できるということですか。
村尾委員	・ここは通える学校が少ないですが、周南地区は徳山高校や光高校、防府高校、柳井高校、新南陽高校などいろいろあるわけです。レベルの高いものが皆行くのではないかと、それを意識しすぎて、ある年は徳山高校の倍率が下がったという年もありました。そうではなくて、行きたいものが行く、受けたほうがいいということがありますので、余りそういうことは考えずに、今の点を上げていく、力をつけていくということが大事なかなと思います。
学校教育課長 村尾委員 西村委員長 佐倉委員	・基本的に学校へ通学するというのであれば、今までの形で余り大差ないということですかね。 ・そう考えております。 ・分かりました。ありがとうございます。 ・よろしいですか。 ・成人式の件は、一応は来賓等をきちんとしたほうがいいんだけど、議長一人だったら、事前に担当のほうが聞いておいたら慌てなくていいと思います。もう一つ、以前にもお話しして皆さん御存じかと思いますが、障害のある子供たち、特に自閉があるお子さんや重度のお子さんの成人式への参加はなかなか難しい状況で、10年くらい前から、新成人を祝う会というのを総合支援学校で行っています。今回、市報にも少し出ますので、御確認いただきたいと思います。これからは、障害のあるお子さんもそうでない人も同じような形の中でできるだけ成人式をやってあげたらいいと思います。卒業生も来てくれて一緒に祝ってくれたり、他県に転勤した教師が来てくれ

西村委員長	たりもします。本当にホットなすばらしい会です。 ・ よろしいですか。ないようでしたら、報告第1号を終わります。 次に、日程第3「報告第2号 公務上の事故に関する専決処分の報告について」を議題といたします。なお、これ以降の日程については、公表までの間、議事については非公開としたいと思いますが御異議ありませんか。
各委員	・ 異議なし。
西村委員長	・ それでは非公開として議事を進めてまいりますので、関係者以外の方は、御退出をお願いします。 <傍聴人退席>
西村委員長 周東支所長	・ それでは、周東支所より説明をお願いいたします。 ・ 報告第2号公務上の事故に関する専決処分の報告について、説明をさせていただきます。地方自治法第180条第1項の規定に基づき、平成29年12月6日市長が専決処分いたしましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。事故発生状況につきましては、平成29年7月3日午前11時30分頃、岩国市周東学校給食センターにおきまして、職員が給食配送用コンテナを配送委託業者のトラックに積み込む際、当該コンテナが相手方の腰に接触し、負傷させたもので、損害賠償の金額は2,608円でございます。
西村委員長	・ ただいまの説明に御意見、御質問がありましたら、お願いします。 7月にあった事故ですね。少し時間が掛かったのはどうしてですか。
周東支所長	・ 示談の割合を相手方と交渉するのに時間を要して遅くなりました。
西村委員長	・ 負傷の程度は。
周東支所長	・ 病院に一度受診されて2日間仕事を休まれて、3日目から仕事に復帰されていると聞いております。
西村委員長	・ よろしいですか。ほかにないようでしたら、以上で報告第2号を終わります。 本日の議題は以上でございます。次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。
教育政策課長	・ 次回定例会は、2月14日水曜日午前10時から本庁舎2階特別会議室で開催する予定です。
西村委員長	・ これをもちまして、平成30年第1回岩国市教育委員会会議を終了します。